

ご協力ありがとうございます！

(敬称略)

【10月の新入会】

なし



【10月の寄付金】

今嶋泰之、(株)上村真珠、島松喜久子、東端清

【10月の寄付品】

坂本進、坂田艶子、原田明、永石木工所
園田信子、大雷童のお母様、藤津瑞穂
田中涼子、榮力

鬼木大明神 今月の一句

人生には「ここを乗り越えれば！」という「勝負どころ」がある
苦しい局面で踏ん張れるかどうかそれがそれ以降の5～10年を
決めてしまうことがよくあるものだ！

ここという時にためていたエネルギーを投入すると、

何でも流れにのってうまくいく

加速する時期が大事だ！

苦しくとも逃げるな！

逃げる決断を先に引き延ばせ！

目の前の「勝負どころ」に全エネルギー
を集中しつづける！！

喝

オーレック社員研修(2泊3日)

10月16日(水)～10月18日(金)にかけて、日本でも有名な草刈り機メーカー「オーレック」の社員6名が参加して、センターにて宿泊研修が行われました。

今回派遣された社員は入社1～3年目のフレッシュマンで、開発部に所属しているメンバーでした。研修内容としては、オイスカ独特の規律訓練から農業体験、ニワトリの解体に至るまで、通常では味わう事の出来ない体験をしてもらい、参加した社員からも「初めての体験が多くていろいろと勉強になり、研修生とも仲良くなってよかったです」と大好評でした。また、当日は会社から草刈り機の機械を持参していただき、研修生に対し操作の体験もさせていただきました。お陰様でセンターのグラウンドがきれいになりました。(豊田)



LOVE FM「外国人限定ボートレース体験教室」

10月13日、オールレディース LOVE FM 福岡なでしこカップボートレースに研修生のお招きをいただきました。当日はオイスカ研修生18名をはじめ福岡に在住の外国の方総勢40数名が参加、先ずはじめにLove FMの担当者より初心者コースのルールの説明を受け、支給された2千円をもとにそれぞれのレースを予測してチケットを購入していざ本番、はらはらドキドキする中レースがスタートすると会場から歓声も上がるなど、みんなで競技を楽しみました。(満川)



11月号の予定

- 2日 横綱土俵入り見学(住吉神社)
- 3日 脇山歩こう会
大野城スピーチコンテスト
田隈校区バザー
Nakamura ファーマーズマーケット
- 4日 晴好みらい一丁目カドフェス
- 9日 収穫感謝祭・秋(オイスカ西日本研修センター)
- 13日 朝倉光陽高校交流会
- 15日 LP ガスフェア(福岡タワー1F イベントホール)
- 16日 MUFG 福岡地区交流会(オイスカ西日本研修センター)
- 19日 南九州大学&宮崎県農業大学校視察
(株)オークマ4名技能試験
- 20日 桜島中学校交流会
- 21日 研修生九州場所相撲見学(福岡国際センター)
佐賀県推進協議会幹事会
- 23日 100年の森づくり植林(東峰村)
熊本俵祭り(玉名市)
北九州エコライフステージ(～24日)(小倉城)
- 24日 高田川部屋千秋楽パーティ(オイスカ西日本研修センター)
- 30日 脇山小学校餅つき

まるごと!西日本

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1

TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322

E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)

第672号

令和元年11月号付録



←FacebookとInstagramに日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！



天皇陛下御即位奉祝式典参加

10月6日、福岡県奉祝委員会主催の「天皇陛下御即位奉祝式典」に研修生全員で参加しました。10月22日の「即位の礼・正殿の儀」を前に、福岡にて奉祝式典が開催され、研修生も各国の民族衣装で参加しました。日本古来の皇室に関して、研修生に事前に説明し、代替わりの節目に日本で研修を行うことの奇遇に研修生も目を輝かせていました。

日本の伝統・文化に触れる貴重な体験となり、研修生も喜んでいました。今回は研修生も「各国代表」との位置付けでの心構えで参加したようです。(廣瀬)



大相撲オイスカ場所スタート!

今年も九州場所の季節がやってきた。10月18日より先発隊6名が到着し、部屋や土俵の準備を行い、27日、高田川部屋力士全体が到着しました。1年ぶりの再会、研修生にとっては初めての対面で興奮しまくりでした。28日、地域の方々を含め140名以上がセンターに集い、「高田川部屋歓迎ちゃんこ祭り」を開催。そこそこ広いセンターの食堂がパンク寸前の状態で、来場者の皆さんも美味しいちゃんこに大満足！締めでは研修生と力士と来場者が一体となって、フィジーやインドのダンスで大変にぎやかな会となりました。

翌29日は早朝より土俵開きがあり、立行司の41代・式守伊之助による神事が執り行われ、厳粛な雰囲気の中、研修生も神妙に立会いました。いよいよオイスカでの稽古が開始されます。令和元年を締めくくる九州場所での活躍を祈念します。研修生も楽しんでくれることでしょう。(廣瀬)



早良小学校交流会

10月15日に早良小学校で2回目の交流会があり、インタビュー形式で子供達からの質問に答えていきました。たとえば研修生の国の家、楽器、昔の遊び、好きな学校行事、お化けについてなどなど。好きな学校行事という質問にモーセスさん(パプア)は「ピクニックが一番好きです。先生とみんなでボートに乗って島にいったり海で泳いだり、魚をとったりします。」どんな家に住んでいますかという質問にトムさん(フィジー)は「私のうちは草でつくります。1ヵ月くらいかかります。雨が降っても大丈夫です。10年くらい大丈夫です。」と話してくれました。日本との違いにとっても興味津々な子供達でした。研修生は子供たちの日本語が早くて聞き取れないと言っていました。子供達がいろいろな質問をしてくれて楽しかったと話していました。子供達もいつの日か研修生の国に行けたらいいですね。(園田)



南区保育園園長会 23 名センター訪問

10月21日(月)、地元脇山保育所からの要請で福岡市南区の保育園園長会より20名の園長さんがセンターを訪問しました。1時間半ほどの滞在でしたが、オイスカの活動紹介や研修生から国の紹介などを行い、研修生が日本語で一生懸命紹介をする姿勢や研修に取り組む意気込みなどに触れて、皆さん非常に感心していました。園長の中には「うちの職員も連れてきて研修生のこのような前向きな姿勢を見せたい」と話をしていました。短い時間でしたが、オイスカのファンが何人か出来た良い機会となりました。(豊田)



日本語の様子⑥

10月になり、日本語能力試験まで残すところ2か月を切りました。1週間に1回4時間の貴重な時間を使って、勉強を続けています。

●Bクラス 教師：病気のとき、友達は何をしてくれましたか。

エリサ：サンモさんが部屋へごはんを持ってきてくれました。

教師：今までいろいろな人が親切にしてくれましたね。

授受表現(あげます・もらいます・くれます)は研修生にとって難しい文法ですが、感謝の気持ちを述べられるようになるといいです。

●Aクラス 教師：どうして、貯金しますか。

ウス：結婚のために、貯金します。

女性研修生からの意外な答えでした。(結婚の予定があるのかな。)

また、【日本で家を建てるのに、2000万円かかります。】という例文に驚愕の表情をしていたのが忘れられません。

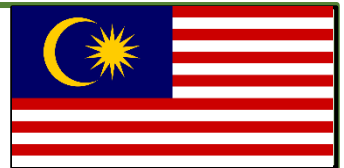
さて、この度、11月3日に行われる大野城市日本語スピーチコンテストに研修生5名が自ら立候補して、参加することになりました。すべて暗記しての日本語でのスピーチです。ただいま練習中です。結果は来月ご報告したいと思います。

頑張れ！研修生！（立石孝子）



A クラス

OB 研修生の紹介コーナー ⑩



Christine Joseph (クリス) マレーシア在住

2014年4月～2015年3月西日本研修センターにて研修

8月に5年ぶりの再会したクリスさんについて紹介したいと思います。今マレーシア サバ州タンブナンの家に戻り、家族と一緒に研修センターさながらに幅広く頑張っています。さてどんな事をやっているかといいますと・・・

・きのこ栽培：クリスさんといえばきのこ！（日本のイベントで、ポンドで絵を描きましようといったら、とっても素敵なきのこ頭の人を描いていましたよね♡）日本に来る前からきのこ栽培はスタート。日本でも東峰村へしいたけの菌床づくりや栽培管理方法を勉強、マレーシアに戻ってからきのこ栽培にも役立てています。

・農業：お米、ハーブやいろいろな野菜、お花、果物

・養殖：ティラピアというお魚を育て販売（マレーシアで人気のお魚）、豚3匹

・蜂：今年からチャレンジしているそうです。人気の蜂の種類を選び育て、ハチミツを採取。そのハチミツとハーブやトマト、お米(もちろん自家製)を配合しての石鹸を作り、マーケットで週2回販売。この石鹸、バラの形をしていてハンドメイドでグリセリン以外自家製のものを使用という事もあり人気だそうです。私も使ってみてしっとりしていて、気に入りました。

クリスさんは、今もマレーシアでチャレンジし続けていました。きのこ栽培で成功しても、それだけではなく新しいことを見つけています。日本での研修中はそんなにおしゃべりではありませんでしたが、意思の強さが感じられました。オイスカのマレーシア&日本での勉強、そして地元で活かす事を頑張っているクリスさん。これからもみんなで応援していきましょう！

🌾 家の田んぼ



🍯 手作り石鹸



クリスさんの恋人 🦇 (廣瀬紀子)



体験農園だより

サトイモの収穫の季節を迎えました。ここ数年猛暑の影響でサトイモの出来が悪く、殆ど収穫が出来ない年が続きましたが、今年は盆明けからの長雨でサトイモの生育は非常によく、1株に美味しそうなコロコロしたイモがたくさんついています。サツマイモについても掘り始めはあまりよくなかったですが、今は美味しそうな紅色をしたイモがたくさんついています。オイスカの農園は毎週いろいろなグループがイモ掘り体験に来ていますが、大人、子どもを問わず皆さん喜んでイモ掘り作業に夢中になります。

大きなイモが掘れた時の嬉しそうな顔を見ると、こちらまで嬉しくなってきます。

11月9日の収穫感謝祭・秋のイベントでもサツマイモの収穫体験コーナーがあるので、沢山の方に来ていただいて大きなサツマイモを掘ってもらいたと思います。(豊田)



サトイモ収穫の様子



サツマイモ収穫の様子

「ぼちぼちの会」体験交流会

10月27日(日)、九州電力福岡支社からの紹介で、「ぼちぼちの会」(子どもの登校支援をしている保護者の会)の団体のメンバー21名がセンターを訪問して交流会が開催されました。

午前中は研修生との交流や料理づくり、午後からはじゃんけんを使ったゲームやサツマイモの収穫体験など盛りだくさんの内容で、清々しい秋晴れの下、楽しい交流会となりました。

特に研修生の料理づくりでは、今回4カ国の料理を準備しましたが、どの料理も大変美味しく出来上がり、参加者の皆さんもたくさんおかわりをして喜んで食べていました。最後のお別れの時には、「別れるのが惜しいなあ」と研修生と名残惜しそうに握手をしている姿が印象的でした。(豊田)



くれふる BBQ 交流会開催

10月18日(金)毎年恒例のくれふる主催「バーベキュー懇親会」がセンターで開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、70名を超える方に参加していただき、大量に準備されたいろいろな種類のお肉や焼きそば、オイスカ名物の塩おむすびを美味しくたくさん食べていただきました。

お腹が満腹になった後は食堂に場所を移して、抽選会と研修生の踊りの出し物を披露し、「くれふる」の利用者の方も踊りに加わって、大賑わいの交流会となりました。

「国籍の違いや肌の色、障害を持たれているかどうかなど、人それぞれ様々な違いがあってそれも面白いね、みんなで楽しめたらいいね」参加された皆さんからそんなメッセージが届いたような素敵な1日になりました。(豊田)



脇山校区稲刈り大会参加

10月12日(土)、当日は台風の影響が心配されましたが、曇り空でやや強い風が吹く中で、脇山小学校の全校生徒のほか、自衛隊や地元の方が参加し、盛大に令和元年度の稲刈り大会が開催されました。稲刈り作業は40分ほどで終了し、その後脱穀作業や落穂ひろい、天日干しにする稲はまとめて縛るなど、参加した小学生や大人も含めて全員が協力して作業を行っていました。

研修生も子どもたちとの会話を楽しみながら稲刈りの作業を行う事が出来ました。(豊田)



サッカー観戦

10月19日、東野モータースの東野さんのご招待で、アビスパ福岡のゲームを観戦してきました。試合が始まる前からアビスパサポーターによる応援があっており、会場は盛り上がりしていました。試合が始まると研修生も応援歌に合わせて応援しました。前半9分にアビスパがゴールし、皆立ち上がって喜び合っていました。その後相手チームのシュートが増え、ハラハラする場面もたくさんあり、そのたび研修生のすごい悲鳴が聞こえておりました(笑)後半アビスパがコーナーキックでゴールを決め、これで勝てる!と思いましたが、数分後に相手チームもゴールを決め、最後までハラハラする試合でした。今回アビスパ福岡が勝てて良かったです。スポーツにあまり関心がない研修生も楽しむことができました。東野さんありがとうございました!(園田)



研修生の紹介コーナー ⑤



マレーシアから来た、Ahmad Aslam Bin Mohamad Ali です。ニックネームはアスラムです。農業一般の研修生です。23歳です。2017年にマラの専門学校を卒業をしました。それから、父の畑で手伝いました。2018年にオイスカマラ事務所に入りました。

☺ ☺ ??アスラムさんに聞いてみましょう?? ☺ ☺

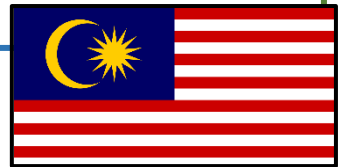
●マレーシアのおすすめな場所はどこですか? ➡ クアラカンサー町にあるラブサヨングです。クアラカンサーは、マレーシア、ペラックの王室の町で、私の故郷でもあります。色々な有名な場所がありますがラブサヨングを紹介したいと思います。ラブサヨングは有名な粘土工作です。ラブの意味は投手で、サングは場所の名前です。粘土で作ったラブに水を入れると飲んだら清涼になります。冷蔵庫がいらないぐらい水が美味しく飲めます。

●日本の料理で何が1番好きですか? ➡ 日本料理はほとんど好きですが、なかでも寿司が一番大好きです。

●日本はどうですか? ➡ 日本に来てから色々な場所に行きました。色々な体験、経験をさせてくれました。ほとんど良いことばかりに行きました。そして、日本の4つの季節が素晴らしいです。この4つの季節を経験することが出来て、夢のようです。日本で一回だけのチャンスがあるので味わいながら過ごします。

●日本での目標、頑張ることは何ですか? ➡ 日本での目標は日本語を上手に話せるになりたいです。そして日本語能力試験N4を合格することです。それだけではなく、種の作り方を勉強することです。

●好きな言葉は何ですか? ➡ ありがとうございます!!とても大切な言葉です。小さなことをもらうだけでもこういう言葉を言ったらとても良いです。



ラブ サヨング



ブルーベリー収穫



パプアニューギニアから来た Patrick Kiraga です。ニックネームはパトリックです。環境保全型農業技術研修生です。12月に21歳になります。日本に来る前にオイスカラバウル研修センターで林業の仕事をしました。種の回収をしました。そして、子供の森計画に関する仕事をしました。

☺ ☺ ??パトリックに聞いてみましょう?? ☺ ☺

●パプアニューギニアのおすすめの場所は何ですか?

➡ ラバウルにあるヤマモトバンカー(山本地下壕)です。山本提督さんが第2次世界大戦で作られた地下壕です。今、管理をして観光地になっています。とても有名な場所です。毎年たくさんの日本人が来ています。

●日本の料理で何が1番好きですか? ➡ 日本料理は何でも美味しいです。でも、一番好きなのは魚料理と野菜天ぷらです。

●日本はどうですか? ➡ 日本はとてもきれいな国です。ご飯も美味しいです。日本のお婆さんとお爺さん達が良く頑張って働きます。働き方とても素晴らしいです。

●日本での目標、頑張ることは何ですか? ➡ 今の目標は日本語能力試験N5合格することです。私のふるさとで農業の社会を作りたいです。農業の色々なことを学びたいと思います。

●好きな言葉は何ですか? ➡ 私の方言で「Tahute Sakite」意味はどうもありがとうございます。こういう言葉はとても深い意味があります。ただ、話すだけではなく、心から「tahute sakite」と話したら世界が平和になります。



山本地下壕



ブルーベリー収穫

技能実習 3 号へ移行

技能実習法の改正に伴い平成 29 年 11 月より新しい制度が施行され優良な実習実施者(受入れ先)、管理団体に限定されて実習の延長(4 年目、5 年目)が認められるようになりました。当センター管轄の 2 社(有限会社 大地企画:表装)(有限会社 I・I・D:酪農)

でもそれぞれ 1 名ずつの実習生が 3 年目までに必要な試験に合格し今回 3 号への移行することになりました。現在移行にあたり必要な一時帰国中で 12 月には、再来日の予定です。実習開始当初はホームシックになったり、いろいろな問題も抱えながら 3 年間無事に実習を終えました。今では、受入れ先にとっても欠かせない戦力となりました。まずは、3 年ぶりに戻った家族の下でゆっくりと休養を取ってもらい次の 2 年間(技能実習 3 号)を更なる技能の習得はもとより、日本での生活も充実したものになることを期待します。(彦坂)



佐賀料理交流会 & 佐賀ラブグリーンの翼報告会

10 月 5 日(土)、佐賀県国際交流プラザで料理交流会が行われました。今回はバングラデシュ料理ということでセンターからは研修生のナズマとアシスタントとしてスタッフのリナが講師となりました。

参加者は 11 名でチキンカレーなど 4 品を作りました。なじみのないバングラデシュの料理を今回初めて作りましたが参加者からは好評でした。また、会の終盤にはナズマからバングラデシュの紹介があり、興味深く聞き入っておられました。

さらに、8 月に実施されました佐賀ラブグリーンの翼フィリピン・ネグロス島ツアーの報告会が料理交流会に引き続いて行われ、スライドを見ながらツアーを懐かしく振り返りました。(安東)



現人神社(福岡・那珂川市)で流鏝馬行事を見学

10 月 20 日、福岡県那珂川市にある現人神社の流鏝馬行事を見学させていただきました。研修生たちは会員さんよりご案内を受け、日本伝統の騎射の技術で馬に乗って走りながら弓を的に放つ様子を写真に収めるなどして競技を楽しみました。(満川)



若竹保育園イモ堀大会

10 月 25 日(金)、毎年米作りの体験で交流のある春日市にある「若竹保育園」の年長組 35 名ほどもがセンターを訪問して、サツマイモの収穫体験が行われました。前日が雨だったので畑が多少ぬかるんでいましたが、子どもたちは研修生と一緒に、土の中で大きくなったイモを小さなスコップで一生懸命収穫していました。大きなイモを掘り上げた時には、自慢げに周りを見せて喜ぶ園児もいました。収穫した後はセンターに戻ってお弁当の間となりましたが、事前に仕込んでおいた焼き芋(ちょっと焦げてしまった)を昼食後に振る舞い、園児は大喜びで焼き芋の味を楽しんでいました。午後は雨模様となりちょっと残念でしたが、楽しいイモ堀り大会になりました。(豊田)



OB 研修生の紹介コーナー ⑪

Worachest Khattiya (チョンラク) タイ在住です。1996 年 2 月から 1997 年 4 月までミカン栽培のコースに日本へ来ました。委託研修で佐賀県の鳥越ミカンファームで研修をしました。タイに帰ったら 1997 年 6 月～1999 年 12 月「ラムカムヘン大学(バンコック)の学部」、2000 年～2001 年 3 月「オイスカインドネシア」、2001 年 4 月～現在「農業および農業協同組合のための政府銀行」で働いています。ランパング州事務所のトーエンブランチのチーフです。

現在自分の 8 エーカーの農場を持っています。私と奥さんと一緒に管理をしています。4 エーカーにチーク木を植えて、1 エーカーにブドウ等を植えて、1 エーカーにレッドスウィートコーンを植えて、0.5 エーカーの田んぼ、ドラゴンフルーツ等があります。西日本研修センターと一緒に研修をしたインドネシア人のバダリアーと結婚しました。今、18 歳の息子と 13 歳の娘が居ます。子供達はまだ学校に行っています。2017 年にブドウ畑を買って、2018 年にブドウの植栽を開始しました。今は 15 件のハウスを持ち、12 件は 3x4m の大きさがあって、3 件は 6x24m のサイズがあります。全部のブドウはハウスの中に植えています。15 種類のブドウを植えています。私のブドウ畑は年 2 回ぐらいあります。お客さんは私たちのブドウ畑に来て、買います。そして、ソーシャルメディアを使ってブドウなどを販売します。ブドウは 1 キロ、200 パーツから販売をしています。お客さんは私のブドウ畑写真を撮ったりします。色々な種類があるので面白いと思います。



私の家族



お客さん達が楽しく写真を撮っている様子



OB の皆さん、先生方、スタッフの皆さん、西日本研修センターで友達になった人々の幸運を祈っています。そして、私を日本で研修してくださった、中野総裁始め、スタッフの皆さん、ありがとうございました。奥さんと頑張っていますので皆さんも頑張ってください。

三菱 UFJ ニコス熊本ボランティア参加

10 月 19 日(土)、三菱 UFJ ニコスの福岡在住の社員総勢 15 名が参加して、熊本県西原村での農業ボランティアの活動を実施しました。

研修生は別の用事があったために参加出来ず、調整役としてオイスカから 1 名のみで参加してきました。午前中はあいにくの雨でしたが、室内での出荷調整作業と復興状況の視察という事で村内をバスで回りました。

昼食をはさんで午後からは天気も回復し、機械を使つてのサツマイモの収穫作業を一緒に行うことが出来ました。

1 台の機械に 4 人が乗り込み、掘り取られたイモをツルから切り離したり、選別したりと初めての割には皆さん手際よく作業を行っていました。農家の方も若い女性の社員の方と仕事が出来て、「いつも母ちゃんの顔ばかり見ているから今日は楽しいね」と冗談交じりに話してくれました。いつも忙しく作業に追われている農家の方にとっては、ちょっとした気分転換になりました。(豊田)



インドネシアのバダリアー
1996 年度の農業研修生
農業は毎日楽しいです。